

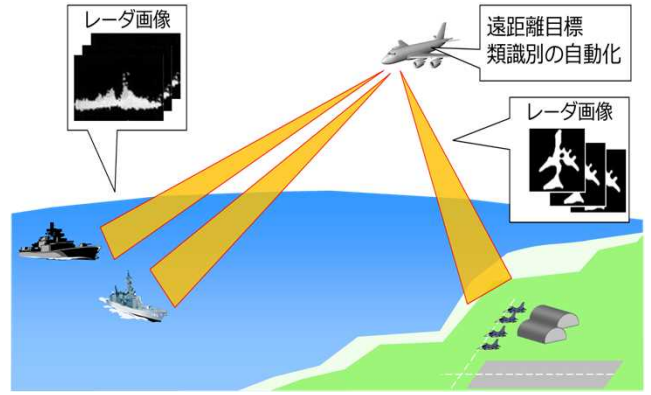


防衛装備庁

遠距離目標類識別技術の研究

背景

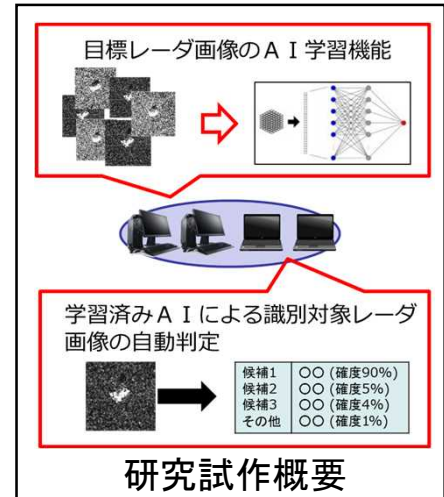
SAR(合成開口レーダ)及びISAR(逆合成開口レーダ)はレーダによって目標の画像が取得できるものであり、全天候型で日中も夜間も運用可能であることから警戒監視に活用されています。



本研究で**AI(人工知能)**による画像類識別技術を適用することにより、**レーダ画像に映された目標の類識別の自動化**を実現します。

研究内容

- 遠距離目標類識別評価装置を試作し、目標のレーダ画像を学習させます。
- 所内試験において、学習済みAIによる目標の類識別の自動化の実用性等を評価します。



研究計画

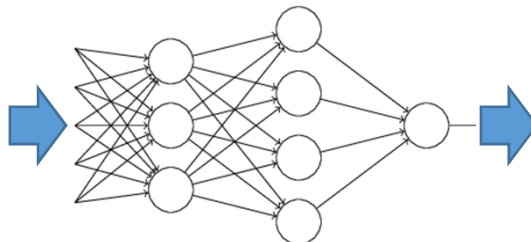
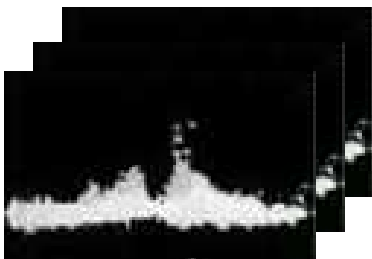
年度	元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実施内容		← 研究試作 →		← 所内試験 →		

レーダ画像自動類識別のイメージ

入力(目標のレーダ画像)

人工知能

出力結果(目標の種類)



候補A